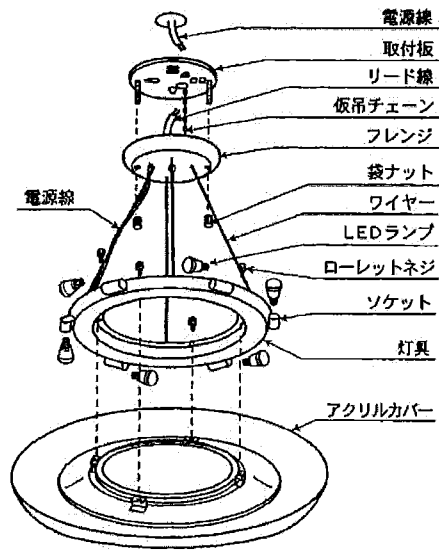


LEDZ.

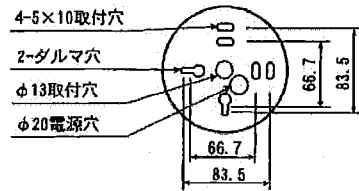
【型番】 ERP7232S, ERP7233S

◆各部の名称

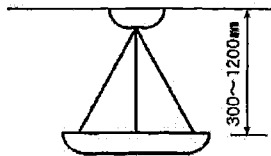


※アクリルカバーは、はずさずに施工できます。

◆取付寸法



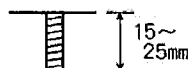
◆灯具高さ調節範囲



◆取付方法

1. 安全確保の為、電源ブレーカーを遮断してください。
2. 器具重量に耐える様、天井の取付部の強度を確認してください。
3. 袋ナットをゆるめ、本体より取付板を外してください。
4. 取付板を木ネジ2本または取付ボルトに六角ナットと平座金で確実に取り付けてください。

※ボルト取付時 ボルト出し寸法



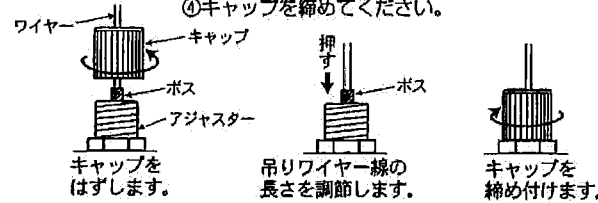
△ 取付が不完全ですと、落下の原因となります。

5. 仮吊りチェーンを取付板に引っ掛けてください。
△ 取付が不完全ですと、落下の原因となります。
6. 電源線とリード線をフレンジ内にて結線してください。
△ 接触不完全や容量オーバーの場合、火災の原因となります。
7. フレンジを取付板に袋ナットで取り付けてください。
△ 取付が不完全ですと、落下の原因となります。
8. 吊り下げ高さを調節してください。
ワイヤ線を調節してお好みの高さに設定してください。高さ調節は、300mm~1200mmの範囲で行ってください。※高さは300mm以下にしないでください。
△ 落下・火災の原因となります。

●ワイヤ線の調節の仕方

A短くする方法 灯具を持ちながら、アジャスターの中にワイヤ線をまっすぐ押し込んでください。

B長くする方法 ①キャップをはずしてください。
②灯具を持ちながら、アジャスターのボスを押したまま、ワイヤ線をまっすぐ外へ引き出してください。
③長さが決まったらボスを離してください。(ワイヤ線はそこで固定されます。)
※再度調節するときは、同じ作業をくり返します。
④キャップを締め付けてください。



△ 点灯中や消灯直後は、高温になっていますので器具に触れないでください。やけどの原因となります。

9. 電源コードの調節
調節したワイヤ線の長さに合わせて、電源コードの長さを調節してください。
●電源線に重量がかからないように、たるんだ分の電源コードを灯具内部に押し込んでください。
10. ランプをソケットに確実に取付けてください。



△ LEDランプがしっかり固定されているか確認してください。落下の原因となります。

△ LEDランプを強く握ったり、ひねったりしますと、破損・怪我の原因となります。ていねいに扱ってください。

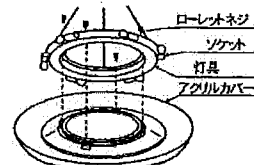
△ 点灯中や、消灯直後(消灯後20分まで)にLEDランプを素手でさわりますと、やけどの原因となります。

11. アクリルカバーを取付けているローレットネジがゆるんでいないか確認してください。

△ 取付が不完全ですと、落下の原因となります。

■カバー清掃方法

1. カバー取付ローレットネジを外すと、カバーがはずれます。
2. 乾いた布で拭いてください。
3. カバー取付ローレットネジで確実にカバーを取り付けてください。



△ 点灯中や消灯直後は、高温になっていますので器具に触れないでください。やけどの原因となります。

※化飯ネジは、はずさないでください。

△ 落下の原因となります。

◆仕様

型番	定格電圧	定格周波数	消費電力	入力電流	ランプ		口金
ERP7232S	AC100V	50Hz/60Hz	40W	720mA	LEDZ LAMP	RAD427L	8灯
ERP7233S			30W	540mA			6灯

◆適合ランプ(球付)

ランプ	定格電圧	定格周波数	消費電力	入力電流	ランプ色	調光	口金
RAD427L	100V	50Hz/60Hz	5W	90mA	電球色タイプ(2700K)	調光不可	E17

△ 適合LEDランプ以外のランプは絶対に使用しないでください。火災・器具故障の原因となります。

△ LEDランプ交換の時は、必ず電源を切ってください。感電の原因となります。

△ 3年以上お使いいただいた器具は、安全のため器具・コードなど1年ごとに点検をし、異常があれば交換してください。

◆LED光源について

- ・LED素子は白熱灯・蛍光灯などの一般光源に比べバツキがあるため発光色、明るさが異なる場合がありますのでご了承ください。
- ・パイロットランプを内蔵したスイッチとの組み合わせでは、LEDランプが完全に消灯しない場合があります。
- ・ラジオやテレビなどの音響機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。
- ・赤外線リモコンを採用したテレビなどの近くで点灯しますと、誤動作する場合があります。
- ・大電力機器(コピー機、ドライヤー、電子レンジ、冷暖房機器など)を使用した場合の瞬時的な電圧変動によって、ちらついたり明るさが変化したりする場合があります。

■清掃方法について

△ 注意 必ず電源を切ってください。感電の原因になります。

- 中性洗剤をうすめ布につけ、よく絞ってから拭き取り、その後乾いた布で仕上げてください。
- シンナーやベンジンなどの揮発性のものまたは酸性、アルカリ性の洗剤で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

・電源工事が必要な場合は、電気工事店に依頼してください。

アフターサービスおよび転居や他の地域へのご贈答の場合は、お買い上げの販売店か、最寄営業所へお問い合わせください。